

寄付者のご芳名

当協会にご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。
(匿名希望を除く。50音順、2024年2月末現在)
この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

川合 祥文 様
一般社団法人生産技術振興協会

編集委員のページ



柳澤 沙也子

長崎大学生命医科学域(保健学系)助教

看護師として病院や高齢者施設にて勤務した後、JICA 海外協力隊(インドネシア派遣)等を経て2021年より現職。NPO法人Rehab-Care for ASIAインドネシア事業リーダー。

天涯比隣の如し

2023年末、NPO活動を目的としてインドネシアに渡航しました。コロナ禍の影響で海外渡航を自粛していたことに加え、日本では仕事等に追われていたため、約4年ぶりの海外となりました。渡航先では、コロナ禍にオンラインにてリハビリテーションや療養生活に関する助言を行ってきた在宅療養者にお会いし、元気になった姿を拝見できました。コロナ禍以前からNPO活動で協働してきた現地協力者が渡航中の活動をコーディネートしてくれており、コロナ禍の間もオンラインで継続してきた活動の意義を改めて感じました。

療養者の自宅では、自宅内の間取りや段差、道路の様子、熱帯独特の蒸し暑さや軒先で遊ぶ子ども達の笑い声といった、オンラインではわからなかったたくさん目のことを目で見て、肌で感じました。現場を見ながら対話することで初めて腑に落ちたことも多々あり、パソコンやスマートフォンの画面を通して見えるものは、意図的に切り取られた世界の一部にすぎないと痛感しました。

そして、帰国後もSNS等を活用してやり取りを継続できることは、コロナ禍を経た大きなメリットだと考えます。私の所属するNPO法人Rehab-Care for ASIAのメンバーは現地に駐在していない分、現地協力者と映像やビデオツールを通じた情報交換はとても重要です。コロナ禍を経てオンラインでのイベントや勉強会、ハイブリッド参加が新たな選択肢となりました。対面とオンライン、双方のメリットを活かし、NPO活動のみならず、様々な活動を継続していきたいと思えます。